



「松戸市中央消防署新庁舎」の開署及び

「松戸市中央消防署新庁舎開署記念式典」について

松戸市中央消防署は、昭和 42 年に開署し老朽化が激しいことから建替え工事を行っていましたが、「松戸市南部地域の強靱な災害・防災活動拠点」として 4 月 1 日（月）に新庁舎を開署、運用を予定しております。

なお、新庁舎は、2020 年度中に運用開始予定しております「ちば北西部消防指令センター（10 市）」として千葉北西部地域（人口約 240 万人）から、119 番通報を受信するための、共同指令センター施設との複合拠点庁舎となります。

【施設概要】

鉄筋コンクリート造

地上 3 階

延べ面積 3316.33 m²



1 松戸市中央消防署新庁舎の特徴

（1）大規模災害時、長期対応できる消防庁舎

ア 自家用発電機 2 機・・・72 時間対応

（中央消防署・ちば北西部消防指令センター）

イ 自家用給油施設（ガソリン 20,000L・軽油 10,000L）

大規模災害時において、車両の燃料確保が困難な際に、消防車両及び市役所



災害対応車両が7日間の燃料確保が可能

ウ 大会議室（100名収容可能・二分割可能）

（ア）大規模災害時、災害本部運営拠点

（イ）大会議室を二分割し、異なる市民指導（防火・防災・救急）を同時に行うことが可能

エ 防災備蓄庫及び非常用簡易トイレ（マンホール式トイレ）

（ア）緊急消防援助隊出場時の各種資機材の保管

（イ）大規模災害時等、職員の長期活動を支援するための物資及び資機材を保管

オ 耐震性防火水槽（43.22 m³）

・ 自家用給油施設

・ 大会議室



（2）循環型社会に対応した施設

ア 太陽光発電設備（20Kw）

太陽光発電において、夜間街灯26灯及び一部の一般動力電力に供給

イ 雨水貯留槽（287.38 m³）

消防ホース洗浄、消防車両の清掃及び施設内の散水等に雨水を再利用又は大規模災害時に、非常用簡易トイレの排水に活用

・ 太陽光発電設備



（3）市民が利用しやすい施設

ア 車椅子専用駐車場及び視覚障害者用誘導用ブロックの設置

イ 庁舎内のバリアフリー化

ウ みんなのトイレ（昇降式オストメイト対応トイレ完備）



・ 車椅子専用駐車場



・ 視覚障害者用誘導用ブロック



・ バリアフリー化



・ みんなのトイレ



(4) 執務環境の向上

ア 女性職員専用スペース

女性職員専用スペース（休憩室、更衣室、トイレ、仮眠室、給湯室、洗面所）を設置し、女性職員の職場環境に配慮

イ 仮眠室の個室化

インフルエンザを始めとする感染による消防力低下を防ぐとともに、職員のプライバシーの確保に配慮

ウ 訓練環境の確保 ※市民指導時においても活用

(ア) フラットな敷地空間を確保し、広い訓練スペースを確保

(イ) 新庁舎を利用し、様々な訓練が行える訓練施設を併設

・ 女性職員専用スペース



・ 個室仮眠室





・ 訓練環境



(5) 安全・迅速な出場体制の確保及び広報の推進

ア 出場表示板

緊急出場時に、走行中のドライバーに対し注意を促し、安全かつ迅速に出場体制を確保

イ 電光掲示板（動画再生可能）

火災予防、救急車の適正利用、消防団員の募集など、各種広報に推進

ウ 広い車庫空間

車両の停車間隔を十分に設け、緊急出場時の出場準備及び迅速な出庫が可能

・ 出場表示盤



・ 電光掲示板



・ 車庫空間





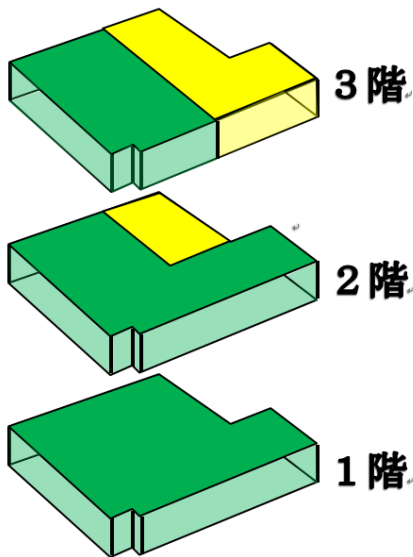
(6) ちば北西部消防指令センター施設（第二期整備）

中央消防署新庁舎は、ちば北西部消防指令センター施設（事務室・指令管制室・食堂・書庫・会議室・男子更衣室・男女仮眠室・電気室・機械室）を有しています。

- ※ちば北西部消防指令センター占有部分 926.62 m²
- ・ちば北西部消防指令センター指令管制室



※中央消防署新庁舎フロアー図

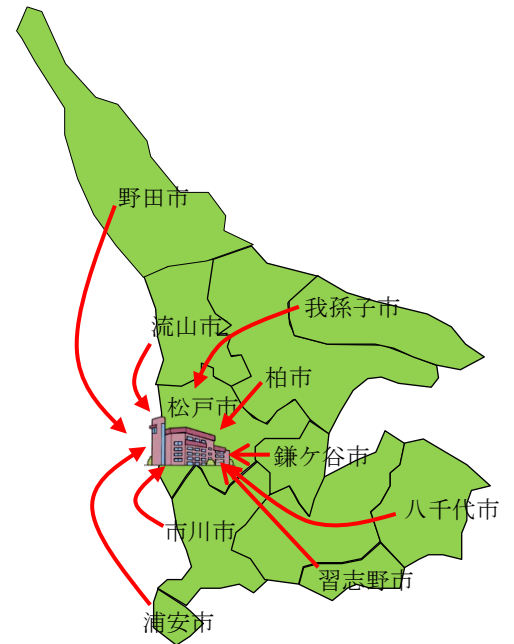


ちば北西部
消防指令センター
中央消防署

※指令管制室 イメージ図



※119番通報受信イメージ図



2 松戸市中央消防署新庁舎開署記念式典の挙行について

(1) 式典日時等

- ア 平成31年4月19日（金）10時00分から11時30分 記念式典及内覧会
- イ 対象： 国縣市議員・関係機関・消防関係団体・報道機関・地域団体など
- ウ 招待者通知 217名
- エ 式典終了後に、新庁舎内覧会及び車両展示

【問い合わせ先】

松戸市消防局 消防総務課 ☎047-363-1116